

教育委員会だより

GuRuMi

まちぐるみ 地域ぐるみ 学校ぐるみ

第19号

令和5年10月1日
発行

田川市教育委員会

教育の現場を全力で支援します
どうぞよろしくお願ひします

田川市教育委員会 教育長 小林 清

この度、教育長に就任いたしました、小林 清です。前任の吉柳教育長をはじめ、歴代の諸先輩方が築いてこられた田川市の教育行政に携わらせていただくことになりましたが、学校教育、社会教育をとおして本市の子どもたちや市民の皆様にとどのように貢献できるだろうかと考えたとき、その責任の重さに身の引き締まる思いです。

私はこれまで、市内の小中学校や教育委員会、筑豊教育事務所などに身を置かせていただき、学校という場所が、主人公である子どもたちの活躍はもちろん、保護者や地域の方々、県や田川市、議会の多大なるお力添えによって成り立っていることを、身を以って体験してまいりました。教育を語る時、その背景にある支えやつながりを大事にしたいと思ひます。このことは学校教育に限らず、社会教育・生涯学習においても同様です。地域のコミュニティを大事にし、教育の成果によって住みよいまちづくりにつなげたいと思ひています。

今後は、田川市第6次総合計画の具現化をとおして、田川市の子どもたちが心豊かに成長し、卒業後も生涯にわたって学び続けることができるよう、また、市民の皆様が学びが充実するよう教育施策の更なる充実に取り組んでまいります。「教育委員会は、教育の現場を支えるために存在している」という基本的な認識のもと、これまでの経験を生かして努力いたしますので、市民の皆様のご指導、お力添えを賜りますようお願ひ申し上げます。



田川市教育委員会
教育長
小林 清



令和
5年度

田川市ならではの学力向上策

令和5年度 田川市ならではの学力向上策(学力ステップアップ事業)

田川市が
目指す
子ども像

自分のよさや特性を生かし、自立し、進んで社会参画する子ども
～あふれる好奇心をもち、自ら、調べ・考え・判断・表現し、つながり合う力の育成を通して～



田川市ならではの学力向上策のイメージ図

学力ステップアップ事業の紹介

田川市教育委員会では、学校・家庭・地域・教育行政がそれぞれの役割を自覚し「ぐるみ」で未来の田川市や日本を担う子どもたちを育てることができるように、左図のような3つの歯車を連動させた「田川市ならではの学力向上策」に取り組んでいます。

今回は、子どもたちの学力保障及び学力向上に向けた市内小・中学校における取組を、それぞれの歯車を基に紹介します。

歯車① 徹底反復学習

【ねらい】

すべての学力の基盤となる学習能力(集中力、学習意欲、計算力、語彙力)を育成します。

【取組内容】

小・中学校それぞれにおいて、以下のような内容で学習をしています。



小学校：朝の学習（朝1回：10分程度）

- ① 音読（古典等を中心に一斉音読）
- ② 百マス計算（四則計算）
- ③ 漢字練習（当該学年漢字の前倒し）
- ◎ 2～3週間同じ内容を反復する。

中学校：モジュール学習（朝昼2回：10分程度）

- ① 数学（百マス計算、計算練習 等）
- ② 国語（漢字、音読、熟語練習 等）
- ③ 英語（リスニング、ライティング 等）
- ◎ 2～3週間同じ内容を反復する。

全校一斉に取り組むことで、教員や児童生徒にとっては、毎日のルーティーン（日課）となり、習慣化されています。また、各校においては、2～3週間の短い間隔で小テストを実施したり、学期に1回程度百マス・漢字コンクールに取り組んだりするなど、子どもたちが自分の伸びを実感できるような取組を進めています。さらに、子どものやる気を引き出し継続させるために、個人や学級に賞状を送るなどの表彰式を実施し、より効果のある取組となるよう工夫しています。今後も、各校において学力向上策を随時見直ししながら、より効果のある取組になるよう発展させていきます。



朝の学習に取り組む様子



表彰式の様子



主体的な学びに向かう授業づくり

【ねらい】

複雑化する社会をたくましく生き抜くために必要な「集中して主体的に学ぶ力」や、「さまざまな情報をかきこく活用する力（情報活用能力）」を育成します。

【取組内容】

田川市では、一人1台のタブレット端末を用いて、「主体的に課題を見つけ、仲間と協働して問題解決する授業づくり」を目指して、日々の授業改善・授業改革に取り組んでいます。一人1台タブレット端末が配布されてから3年になりますが、この間様々な授業実践をしてきました。それらの実践を「ICT活用実践事例集」としてまとめ、各校の実態に応じて活用しています。



タブレットを使って自分の考えを整理する様子



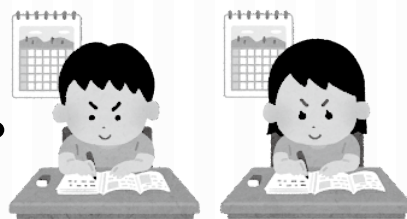
タブレットを使ってお互いの考えを交換する様子

今後は、タブレット端末を活用して仲間と協働して学ぶことだけでなく、自分に合った方法で学習するなど自己選択・自己決定の場を大切にした「個に応じた学習」をより充実させていきます。

また、効果のある授業スタイルを積極的に実践し、市内教職員で共有していきます。



家庭学習の充実



【ねらい】

家庭学習の必要性を感じながら、自ら学習計画を立て、学習内容を選択・判断し、主体的に家庭学習に取り組むことのできる「自学自習力」を育成します。

【取組内容】

全小・中学校において、「家庭学習強化・充実週間」を設定し、自ら計画的に家庭学習に励む取組を実施しています。

また、「自主学習のすすめ」を作成・配布し、今、自分に必要な力は何かを考えて課題に取り組んだり、自分が興味のあることを追究したりするなどの自主学習を推奨しています。さらに、モデルとなる自主学習ノートを全校に紹介するなどの工夫もしています。

今後は、タブレットドリルを用いて自分で課題を選んだり、次の日の授業内容と連動した課題に取り組んだりするなど、家庭での学習内容をより充実させていきます。

家庭学習は、その環境や方法によって、成果が大きく変わると言われています。集中できる環境を整え、しっかりと力が身に付く方法で行えば、大きな成果が得られます。今後も、学校と家庭とが手を取り合いながら家庭学習の質の向上を図ることで、「学んだことを知識として積み重ねる力」や「自分のスケジュールを管理する力」「粘り強さ」など、子どもたちが大人になったときに必要な力を育てていきます。

第39回 こども音楽祭 を開催します!

入場無料

日時 令和5年11月3日(金・祝)
13時30分開演

会場 田川文化センター 大ホール (平松町3-36)

市内の保育園児や小・中・高・大学生などが、楽器演奏や吹奏楽など日頃の練習の成果を発表します。

今年は福岡県立大学のサークルも
出演予定です!



本事業は田川市市制施行80周年記念事業の一環として実施します。
問い合わせ：田川市教育委員会文化生涯学習課文化係 ☎44-5745

トコナツキッズを開催しました!

市内の小学生を対象に、夏休みの子ども体験学習事業「トコナツキッズ」を全5回(低学年4回・高学年1回)開催しました。参加した子どもたちは、工作や人権学習、ニューススポーツ体験を通じて他校・他学年の児童と交流し、充実した1日を過ごしました。



これまでの記事につきましては、
ホームページにてカラー版を掲載しています。

